【芸術科】　２年次　【選択】科目「音楽Ⅱ」授業のシラバス

１　概要

教科名	芸術	**科目名**	音楽Ⅱ	**単位数（コマ数）**	３（１１７）
科目の目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。				
教科書（出版社）	Tutti Ⅱ（教育出版社）			**副教材（出版社）**	なし

２　学習の方法

⑴　予習について

音楽は実技を中心に、演奏技能の習得と表現力の育成に重点を置いて授業を進めていきます。事前に扱う楽曲について調べたり、音源を聞いたりしておくと良いでしょう。また、歌唱曲では自分の担当するパートの音取りや母音唱、器楽曲では、運指の練習やリズム打ちなどを事前に行うことで、演奏技能の習得の大きな助けとなります。

⑵　授業について

授業は、歌唱や器楽、創作、鑑賞の実技が中心の科目です。単元ごとに目標を定め、自己評価や反省を繰り返すことで、着実に技能を習得していけるよう積極的に授業に参加してください。また、技能や表現力をより高めるためには、音楽的な知識（楽典など）やソルフェージュカが必要です。ワークシート等を丁寧に記入し、配付されたプリントや楽譜はフラットファイル等にまとめるよう心がけて下さい。予習復習が難しい科目ですので、毎回の授業に集中して取り組むことが最善の学習方法となります。

⑶　復習について

授業中に次時の課題について予告します。単元の目標を達成するために、その日の授業で不足していた部分や新しく学んだことを繰り返り練習するようにしてください。演奏技能は、反復練習によってのみ身についていきます。

〈学習アドバイス〉
単元ごとに達成度を見る実技試験や筆記試験、発表会等を行います。全体の授業の中での指導内容だけでなく、実技の練習中に受けたアドバイスもしっかりとメモするよう心がけてください。

３　評価について

⑴　評価の観点

観　点	趣旨
①音楽への関心・意欲・態度	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。
②音楽表現の創意工夫	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。
③音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。
④鑑賞の能力	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。

⑵　評価の方法（以下観点①～④は「⑴　評価の観点」と対応する）

評価材料 / 観　点	割合	実技試験	単元確認テスト	振り返りカード	楽典プリント	ワークシート	鑑賞の記録
①音楽への関心・意欲・態度	25％	×	○	◎	◎	◎	○
②音楽表現の創意工夫	25％	◎	○	△	×	○	×
③音楽表現の技能	25％	◎	○	△	◎	○	×
④鑑賞の能力	25％	×	○	△	×	○	◎

〈担当者からのメッセージ〉
①授業規律、生活の心得を守り、授業に臨むこと。
音楽は、自らの感性を豊かに働かせながら、積極的に表現していかなければなりません。音楽への興味や関心を高め、音楽について考えを深めていける雰囲気や環境づくりが重要です。授業規律や心得に関する指導を授業中に受けることのないよう心がけてください。

②仲間を思いやり、共に学ぶ姿勢を大切にすること。
ペアワークやグループワークが多くあります。共に学ぶ仲間への思いやりと敬意を忘れず、意見を真摯に受け止め、認め合える態度で授業に臨むようにしてください。

③教材教具の管理をすること。
各自、配付されたプリントや楽譜を挟むフラットファイルを用意してください。また、アルトリコーダーを使用しますので、中学校で使用したアルトリコーダーを用意してください。

【芸術科】　２年次　【選択】科目「音楽Ⅱ」授業のシラバス

４　授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考査等
前期 4	1　音階の不思議	4 4 4	(1)長音階 (2)短音階 (3)５音音階	①②③	音階の特徴を生かした旋律をつくり、音楽を形づくっている要素の働きや構成を工夫して、自己のイメージにあった表現をしているか。	ワークシート
5 6	2　日本歌曲の魅力 ～「形式」の違いを生かして 3　プレゼンテーション 私の好きな「音楽」と「作曲家」	4 4 2 4 2	(1)ソーラン節 (2)おぼろ月夜 (1)鑑賞 (2)発表準備 (3)発表	①②③ ①④	形式（有節歌曲形式と通作歌曲）による表現の違いを生かし、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景などと関わらせて理解し、イメージをもって歌っているか。 声や楽器の音色の特徴と表現上の項かとの関わりを理解して鑑賞し、楽曲の文化的・歴史的背景について理解を深めて、それらの価値についてプレゼンテーションをしているか。	グループ発表会 プレゼンテーション 鑑賞の記録
7	4　混声合唱の豊かな響き	8 8	(1)大きな古時計 (2)あなたはどこに	①②③	合唱活動に関心をもち，歌詞の内容と，音楽を形づくっている要素の関わりについて理解し、音楽表現を工夫して合唱しているか。	グループ発表会
8	5　楽器の特徴を生かしたアンサンブルの楽しみ	8 8	(1) Jupitar (2)アニメメドレー２	①②③	リコーダー、ギター、ハンドベルの音色や奏法の特徴と表現上の効果との関わりを理解し、曲想にあった音楽表現を工夫して、イメージをもってグループごとに演奏しているか。	グループ発表会
9 後期 10	6　舞台芸術の世界 ～雅楽、歌舞伎、オペラ、ミュージカル	2 4 16	(1)雅楽 (2)ミュージカル (3)ミュージカル体験	①④ ②③	雅楽やミュージカルの特徴と表現上の効果との関わりを理解して、それらの文化的・歴史的背景や作曲家に対する理解を深めて鑑賞し、作品のよさや面白さ、価値について考えて鑑賞しているか。	鑑賞の記録
11	7　歌唱表現の工夫 ～「表現形態」による特徴を生かして	4 6	(1)島唄 (2)見上げてごらん夜の星を	①②③	表現形態による歌唱の特徴や表現上の効果を生かして、いろいろな歌唱曲に親しむとともに、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて理解し、イメージをもって歌唱しているか。	実技試験
12	8　郷土の音楽を知ろう	2	(1)江差追分	①④	日本及び世界の民謡、郷土の音楽の旋律や、声・楽器の音色の特徴、それらの楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち、音楽に対する理解を深め、その価値について考えて、鑑賞しているか・	鑑賞の記録
1	9　和楽器の響きと日本の音楽	2 2	(1)六段の調べ (2)人形浄瑠璃	①④	楽器の音色の特徴と表現とのかかわりを感じ取り，楽曲や演奏を解釈して，それらの価値について理解し聴いているか。	鑑賞の記録
2 3	10　音楽会を開こう	2 12 2 2 1 計 117	(1)選曲 (2)演奏の練習 (3)演奏会の企画運営 (4)リハーサル (5)発表	①②③	音楽Ⅰ、Ⅱの授業で学んだ教材の中から、グループで選んだ楽曲や創作した楽曲につて演奏発表を行い、演出上の効果も検討しながら音楽会をつくろうとしているか。	発表会

※　観点別評価①は音楽への関心・意欲・態度、②は音楽表現の創意工夫、③は音楽表現の技能、④は鑑賞の能力を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。